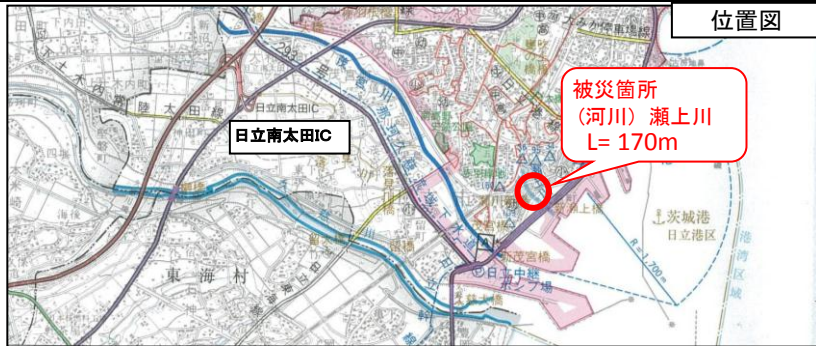
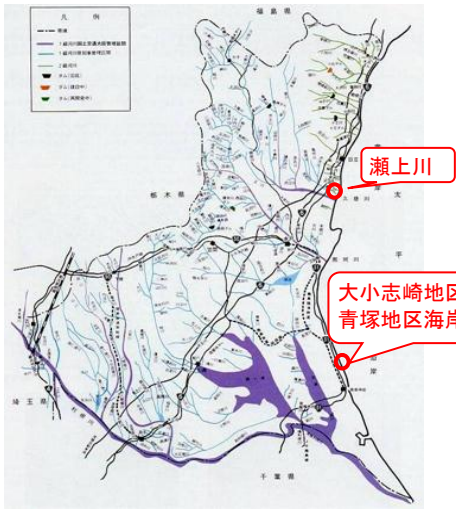




今号では、東日本大震災による災害復旧完了箇所の紹介と、先日小学校に出張して子供たちに河川事業について説明した「出前講座」の様子を紹介いたします。

東日本大震災による災害復旧は概ね完了してきております。今回紹介する現場は日立市を流れる瀬上川と、鹿嶋市の大小志崎地区海岸・青塚地区海岸です。いずれも地震動のほか、津波による被害も受けた箇所です。

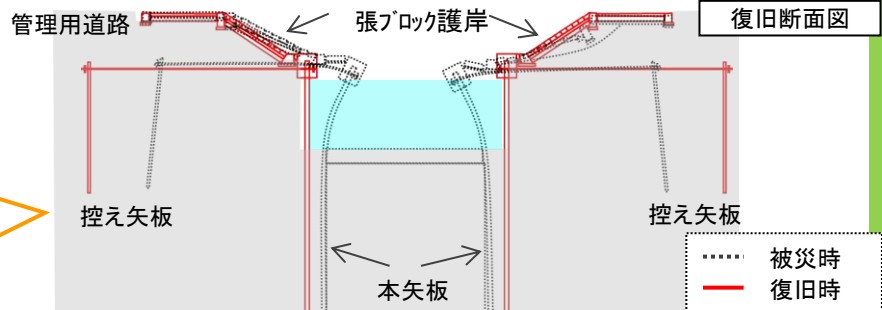
また、「出前講座」は茨城県土木部の若手職員が小学校を訪問し、土木の仕事をつかり易く教えるもので、小学校の授業の一環で行われています。今回は河川のテーマで授業を行った学校のうち、龍ヶ崎市立駒柴小学校での様子を取り上げます。訪れる学校に合わせて、その地区の河川や湖など身近な話題を取り入れています。



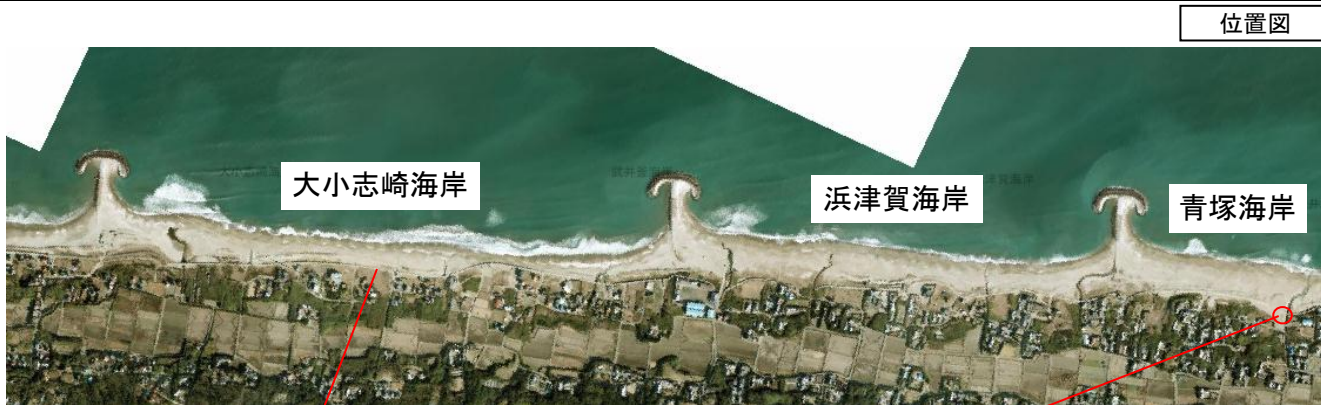
瀬上川では、地震による強い振動や液状化のほか、津波の河川遡上により、護岸の変形や損傷、管理用道路の沈下・損傷が生じてしまいました。復旧工事を進め、国道二百四十五号の上流側の百七十mについては、十月に復旧が完了しました。



地震による強い振動と液状化により本矢板の上部が川の中心側に変形してしまい、張ブロック護岸も川の中心側にずれてしまいました。また、その後の津波の遡上により、張ブロック護岸も一部で崩壊するなどの被害を受けてしまいました。復旧では、矢板を打ち直し、護岸の張ブロックも設置し直しました。







位置図

大小志崎海岸

浜津賀海岸

青塚海岸

被災状況写真



波返し  
不規則沈下及び破損

天端保護  
沈下及び破損



止壁・コンクリート通路  
破損

法枠・天端保護  
沈下及び破損



完成写真



沈下し破損した堤防及び天端を元の高さに復旧しています。



水路脇の擁壁・通路、法枠が沈下及び破損したため元の高さに復旧しています。



◎小学校での出前講座について

茨城県土木部では、毎年十一月から十二月にかけて小学校を訪問し、土木の仕事を紹介する「出前講座」を行っています。

今年も十三校に出張して、「出前講座」を行っています。河川に関するテーマについては四校に紹介しています。

今号では十一月二十一日（水）に龍ヶ崎市立駒柴小学校で行った「出前講座」の様子について紹介します。対象は四年生百七名で、まず「土木」に関する仕事を紹介し、「いばらきのかわ」というテーマに沿って、河川に関する基本的な説明や河川整備の必要性、洪水時の注意点などについて紹介を行いました。牛久沼や小貝川など小学校近くの身近な話題を入れたことや、パワーポイントのアニメーションをうまく利用して視覚的に理解してもらえらるよう説明したことで、小学生たちも飽きずに参加できたと思います。

また、小学生たちからは、様々な質問が出ました。「茨城県で一番短い川は？」や「茨城県内にはいくつ河川があるの？」や「小貝川が氾濫した時は何日間水が引いたのか？」など小学生の興味も色々で、今回の講座により今までよりも河川のことについて興味を持ってもらえたと思います。



【河川かわら版】

発行 茨城県土木部河川課  
 〒310-8555 水戸市笠原町978番6  
 TEL 029-301-4485  
 HPアドレス



茨城県

<http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/doboku/01class/class06/>

